

災害時の心がまえ「あなたはどうしますか？」講座開催

3月10日（木）10時から住民活動支援センター会議室において災害時の心がまえについての講座を開催しました。参加者は20名。講師は栄町消防防災課茨城栄一さん。災害の定義や自主防災活動、地震に備えて「あなたを守る8つの行動」について学びました。

地震が起きてもあわててとびださない、出口の確認、身の安全を図る、靴をはいて逃げる、正しい情報を入手する、協力し合って応急救護、救助などの内容が話されました。

講義の後、多くの質問がありました。

- ◆避難する判断は→5弱を超えたら準備を行う。→防災メールや無線に従う。
- ◆避難場所は→指定された場所にこだわらず、近くの集会所に移動する。
- ◆地域の助け合いは→自治会の班や近所の人たちと防災や身元確認について話し合い、普段からコミュニケーションを図る。

講座の内容を所属団体等に持ち帰りみんなで共有しましょうということで終了しました。

講座の翌日、3月11日（金）未曾有の規模とも言える東北関東大震災が起きました。被災者の方に心からお見舞い申し上げます。避難所で助け合う人たちをメディアで見るたびに、今私たちにできることをしなければと思います。冷静に考え、生活を見直し、節電協力や買占めをしない、自転車利用や歩くなどして、少しでも被災された人に物資やガソリンなどが届くよう、みんなで心を寄せて行動したいと思います。



講座の様子

《日本赤十字社》

●義援金窓口 郵便局・ゆうちょ銀行

口座記号番号 00140-8-507

口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金

取扱期間 平成23年3月14日～9月30日

※ 郵便局窓口での取り扱いの場合振込み手数料は免除

※ 通信欄に名前、住所、電話番号を記載

東北関東大震災に関わる義援金情報①

地域で住民活動をしている人たちの「はじめの一步」

私はこれで

はじめました！

女性編

【NO.12】

「好きなことでボランティア」

鎌田 亘子

平成元年に栄町の住人になり、婦人部の集まりでフラ踊りに出会いました。それがきっかけで若い頃から、ハワイアンの音楽が大好きだった私は、千葉までレッスンに週5回通い教える身になりました。

無我夢中でレッスンして、平成6年にふれプラで教室を始めました。地域の皆様方に支えられ、各老人ホーム、日赤病院に慰問に行き、踊れる喜びと笑顔の皆様に出会い、これからもフラ踊りを続けていく勇気ができました。

現在、日赤奉仕団、ボランティア連絡協議会、カルチャークラブの会員ですが、支援センターの方々に助けられ、これからもボランティア活動を続けていきます。健康第一、趣味を持って楽しく、笑顔の毎日です！

